

2022年12月6日

船橋市長 松戸徹 様

日本共産党船橋市議団
代表 岩井友子

2023年 降下訓練始めについての申し入れ

防衛省から出された「令和5年 降下訓練始めについて」では、習志野演習場で1月8日に年頭行事として降下展示等を実施することとされています。

米軍横田基地を使用し、日米の航空機からの空挺団隊員の降下が行われるだけでなく米軍、豪軍及び英軍について参加を調整中という情報があります。

これまでも私たちは、米軍が軍隊であり、自衛隊が米軍と共同訓練を行うことは「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」とした憲法に反し、しかも住宅密集地の中にある狭小な習志野演習場での降下訓練は大変危険であり、降下訓練始めへの米軍の参加をやめるよう求めてきました。

さらに、今回は豪軍や英軍の参加までが調整中とあることは見過ごせません。2021年9月に米国、オーストラリア及び英国は3国間の軍事同盟を結び「インド太平洋地域において影響力を増す中国に対抗する」としています。その3軍が習志野演習場で自衛隊とともに共同訓練を行うことは、この地域の安全にとって重大な問題をもたらすことになりかねません。

11月18、19日に開かれたアジア政党国際会議の第11回総会では「ブロック政治を回避することの重要性を強調し、競争よりも協力を強調した」「紛争解決の唯一の道としての対話と交渉・・・を強調した」という画期的な規定が盛り込まれた宣言が採択されています。

市長に置かれては、市民の平和と安全を守る立場に立ち、2023年の降下訓練始めへの米軍、豪軍、英軍の参加は中止するよう、防衛省に申し入れることを強く求めます。